

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和4年度 第1回子ども・子育て会議
開催日時	令和5年3月20日（月）13:30～15:00
開催場所	子育て世代包括支援センター 会議室
出席者氏名	別紙（委員名簿）
欠席者氏名	中川委員，小宇根委員
事務局職員氏名	福祉保健部 仁城部長 子育て支援課 鍵本課長，山崎専門員，水谷主任主事及び河尾保健師 生涯学習課 山野主任
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長の選出 3 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第2期江田島市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて (2) 保育施設の運営に関する調査について (3) 認定こども園きりくしの新築移転について (4) 母子モ（電子母子手帳）のシステム改修について (5) 「子ども家庭総合支援拠点」の取組について (6) 伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金について 4 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 新型コロナウイルス感染症対策支援について (2) 放課後児童クラブのサービス拡充について 5 その他 6 閉会
配付資料	資料1 第2期江田島市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて 資料2 保育施設の運営に関する調査について 資料3 認定こども園きりくしの新築移転について 資料4 母子モ（電子母子手帳）のシステム改修について 資料5 「子ども家庭総合支援拠点」の取組について 資料6 伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金について 資料7 新型コロナウイルス感染症対策支援について 資料8 放課後児童クラブのサービス拡充について その他 次第，委員名簿
その他	

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・出席者の確認 ・委員の自己紹介 ・事務局の紹介 ・資料の確認
事務局（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の選出について、お諮りします。会長の職にあった梅比良委員が退任されたため、現在、会長が不在となっております。会長の選出について、委員の方からの御意見をいただきたいと思います。御意見はございませんか。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局に一任というのはいかがでしょうか。
事務局（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局に一任ということですが、事務局案を出させていただきます。前の任期から職務代理を務められ、子育て施策にも精通されている重川委員に会長を務めていただきたいと思います。他に御意見はございませんか。
	<p>《各委員が賛成し、重川委員が会長に選出された。》</p>
重川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・山西委員を職務代理に指名する。
	<p>《会長の指名により、山西委員が職務代理となった。》</p>
事務局（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の進行を会長にお願いする。
重川会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・「協議事項」に入る。資料1について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1説明（第2期江田島市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて）
江郷委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1-4において、1事業者が参入に向けた準備を進めているとあるが、差し支えなければ、教えていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・大柿町のどろんこ園です。認可事業者として参入するというので、今年度に入ってから、話を進めています。
江郷委員	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度予算要求額にある20,000円とは、1人当たりで、市から支援することになるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・20,000円は、1人当たりの上限額です。利用料と上限額を比較して、少ない方の額を保護者に給付します。
山田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1-3において、多様な事業者の参入促進・能力活用事業の変更数値として、令和4年度に数値が計上されている。令和5年度からの事業開始なのに令和4年度に数値が入っているのは、何か理由があるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・申し訳ございません。資料の数値を入力する欄を誤っていて、一年度ずつずれます。令和4年度は数値なし、令和5年度は上から順に30,60,30、令和6年度は上から順に35,60,25となるよう、訂正します。
山田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1-2において、6歳から11歳までが増加になっているが、当初策定時の推計に誤りがあったなど、主な要因があるのか。

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろと分析しましたが、ズバリの要因がありません。コーホート変化率法により、過去5年間の人口増減変化率を捉えて動きをみますが、本市のように母数が少ない場合には、少しの変化で大きな影響を受けることがあります。このような点が要因ではないかと推測されます。担当者レベルの話ですが、このような結果が出たことから、次期計画の策定時には何らかの係数を加えるなどして、もう少し精密な数値を出せればと考えています。
重川会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて資料2について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2説明（保育施設の運営に関する調査について）
重川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・調査を委託したということだが、中身のまとめについては、業者と打合せを行ったのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・業者と打合せを行いました。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・“空き保育室”になってくるスペースの有効利用とあるが、空きスペースがなければ、保護者がサービスを望んでも、空きスペース待ちなのか。空きスペースがないとサービスが受けられないのであれば、認定こども園で差が出るのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は子どもの人数がいて空きスペースがありませんが、子どもの数が減って空きスペースが出たときに、そこでできることを考えていくことが今後の課題です。認定こども園で差があってはならないので、有効利用の内容については、地域に応じたものを考えていきます。公営の施設なので、認定こども園で差が出ないように配慮していきたいと思います。
重川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の要望を聞いて、認定こども園で差が出ないように運営していただきたいということだと思うが、その辺りをよく管理して進めていただきたい。
重川会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて資料3について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3説明（認定こども園きりくしの新築移転について）
重川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市では初めての複合施設でよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりです。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・2階が認定こども園で、子どもを預かることになる。エレベーターの管理は、どうなるのか。子どもが触って乗れない、低いところにボタンがない、障害者が乗れないような構造なのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の認定こども園もそうですが、子どもが勝手に玄関まで行けないようになっています。子どもがエレベーターのところまで行かないように確認しながら、管理します。
重川会長	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターは、給食の運搬や障害者の利用のためであると思われる。

議事内容（要旨）	
岡田委員	・玄関とエレベーターホールが近いので、気になった。昨年、広島市で事故があったことに加えて、資料3-3の図面からは安全性が確認できなかったもので、今から設置できるものがあればと思った。
事務局	・玄関とエレベーターホールの間に扉があり、そこに鍵をかけて、子どもが誤ってエレベーターホールに出ないようにします。広島市の事故を受け、既存の認定こども園の安全性を確認しており、新築する認定こども園きりくしについても、関係課である政策推進課と話をしていきます。
岡田委員	・認定こども園の施設そのものが2階というのは、江田島市では初めてである。今からできることはしっかりチェックして、事故のないようにしていただきたい。
重川会長	・防犯カメラは設置されるのか。
事務局	・直近で認定こども園えたじまにも設置しており、同じようになると思われます。
重川会長	・防犯管理もしっかりしていただきたい。
重川会長（議事進行）	・続いて資料4について、事務局より説明願いたい。
事務局	・資料4説明（母子モ（電子母子手帳）のシステム改修について）
重川会長	・情報を共有するやり取りだけなのか。登園したか否かの確認もできるのか。
事務局	・母子モは、登園や降園の情報と連携していません。子育て支援課や認定こども園から情報を発信するときのツールとして、使っています。
山田委員	・江田島市公式ラインと母子モの関係はどうなるのか。公式ラインを使うのか、母子モだけで認定こども園の保護者に連絡するのか。
事務局	・現状は、母子モだけで情報発信を行うこととなります。担当者レベルになりますが、総務課デジタル推進室から「公式ラインを立ち上げたので、母子モとうまく連携できないか。できることがあれば、調整していきたいので、担当者間で話を詰めていきたい。」という話が来ています。3月末か4月初めくらいから、1回目の話し合いに入っていくことになると思われま。
久保河内委員	・母子モには、認定こども園からお知らせが届いたときの通知設定はないのか。
水口委員	・受信する人が非表示にしていれば別だが、お知らせが届いたら、その旨の通知が表示されるはずである。
久保河内委員	・自分の子が通園している認定こども園を選択すれば、その園からのお知らせだけを受けることになるのか。よりよくなったということか。
事務局	・発信するときに、全体を指定するか、ある認定こども園だけに限定するかを比べるように改善しました。
重川会長	・質問したら、個々に返ってくるのか。質問があれば、認定こども園に行って聞くことになるのか。

議事内容（要旨）	
事務局	・双方向ではなく、発信のためのシステムです。質問への回答は、公式ラインで行うことになると思われます。現在の母子モの機能では、そこまでできていませんので、今後、詰めていきます。
重川会長	・子育てについて、行って聞くのは煩わしいので、スマホを使える人も多いし、将来的にはそういった方向になればよいと思う。
重川会長（議事進行）	・続いて資料5について、事務局より説明願いたい。
事務局	・資料5説明（「子ども家庭総合支援拠点」の取組について）
岡田委員	・江田島市には養護施設がないが、施設に入るときは、呉市になるのか、広島市になるのか。
事務局	・虐待などで保護するときは、西部子ども家庭センターがその業務を担っていますので、本市から直接、施設入所の手続を行うことはありません。
和泉委員	・資料5の中に連携強化とあるが、どこどこがつながるのか。
事務局	・子育て支援課が事務局を持つ要保護児童対策地域協議会がありますが、その協議会の関係機関との連携が第一にあります。直接的な支援であれば、保護者の方への相談支援というところで関わっています。
重川会長（議事進行）	・続いて資料6について、事務局より説明願いたい。
事務局	・資料6説明（伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金について）
重川会長	・申請のタイミングについて、妊婦届出の場合、母子手帳をもらいに行った時点でよいのか、母子手帳をもらっても、この申請をしなければならぬのか。
事務局	・妊娠の届出時に窓口で保健師が対応できる場合は、その場で面談し、申請していただきます。市民センターなどのように窓口で保健師が対応できない場合は、母子手帳を交付し、後日、保健師が面談した後に申請をしていただきます。
岡田委員	・これは出生の補助になるが、不妊治療の補助はやっていないのか。
事務局	・別の制度で、不妊治療の助成を行っています。この50,000円の申請とは別に、不妊治療の申請をしていただくことになります。
岡田委員	・お母さん方の中には、窓口の不妊治療の申請に行くのが恥ずかしいという気持ちがあるらしく、ラインで確実に分かって窓口に行く方法がないかという相談を受けたことがある。
重川会長	・江田島市の不妊治療の助成について、どのような状況なのか。
事務局	・本市の助成は、2種類あります。一つが、検査と一般不妊治療に対して上限が50,000円までのものです。もう一つが、令和4年4月1日から保険適用となったもののうち、一部適用を受けないもので、県事業と合わせて上限50,000円までのものがあります。流れとしては、いずれも県事業に沿って行っています。
水口委員	・アンケートの回収率はどうか。

議事内容（要旨）	
事務局	・妊娠届出と赤ちゃん訪問については、ほぼ回収できていて、残り1件です。里帰り出産により、赤ちゃん訪問が遅れることがあります。妊娠期後期は、妊娠8か月になった方が対象で、令和5年1月に事業開始のため、6月頃になって初めて対象者が出てきます。
重川会長（議事進行）	・「報告事項」に入る。資料7について、事務局より説明願いたい。
事務局	・資料7説明（新型コロナウイルス感染症対策支援について）
山田委員	・この事業は、国50,000円、市が上乗せで50,000円だったと思われるが、いかがか。
事務局	・国の事業ではなく、本市の事業で、新型コロナウイルス感染症対応臨時特別給付金を全額充てています。
重川会長（議事進行）	・続いて資料8について、事務局より説明願いたい。
事務局	・資料8説明（放課後児童クラブのサービス拡充について）
重川会長	・中町児童クラブ以外のクラブでは、どうなるのか。
事務局	・土曜日は、これまでどおり月1回程度、開きます。それ以外の土曜日は、中町児童クラブに保護者が送迎することにより、利用できます。
重川会長	・仕事をされる保護者の方が多く、利用しやすくなったと思う。今後とも、よろしく願います。
岡田委員	・中町児童クラブは、小学校ではなく、児童館で実施しているからできるのか。
事務局	・中町児童クラブの職員は、児童館と併任になっていて、毎週土曜日、出勤しています。他の児童クラブは週20時間の勤務だが、児童館との併任の関係で中町児童クラブには週29時間の勤務となる職員がいることで、対応しやすい状況にあります。また、中町が江田島市の中心に位置していることで、送迎しやすいこともあります。これらのことから、中町児童クラブを選びました。
重川会長（議事進行）	・「その他」に入る。何か質問や意見があるか。
重川会長（議事進行）	・質問や意見がないようなので、議事を終了する。
事務局	・閉会